

120503 金剛山頂付近に咲く「春の花」

わずか数日前まで満開だった「カタクリ」も、その多くが落花していました…
その代わりに、それまでは「カタクリ」ばかりに目がいていたのですが、辺りに咲くいろいろな花を鑑賞する余裕ができたのです。

◆写真①：ハウチワカエデ

- ◇展葉と同時に、若枝の先に花を咲かせました！
- ◇雄花と雌花が雑居していますが、よく見ると長い雄しべが見えるのが“雄花”ですね。

◆写真②：ミヤマカタバミ

- ◇この日、最も開花数が多かったのがこの種です。
- ◇街中では、この種の仲間て小さな黄色い花を咲かせる「カタバミ」をよく見かけますが、こちらの「ミヤマカタバミ」は、葉っぱはハート型の小葉が3枚と似ていますが、花はかなり美麗ですね…

◆写真③：トウゴクサバノオ

- ◇キンポウゲ科の植物です。
- ◇和名は東国鯖の尾（とうごくさばのお）。関東地方に多く見られ、果実の形を魚のサバの尾にたとえたことからの命名のようです。

◆写真④：ニリンソウ

- ◇キンポウゲ科の植物です。
- ◇若芽は山菜として食用されますが、有毒のヤマトリカブトと似ていますので注意が必要です。
- ◇茎葉の間から普通 2本の長い柄を出して、その先に直径 2 センチくらいの白い花をつけることから“二輪草”と命名されたのですが…
何故かこの日撮影した株は一輪だけでした。

◆写真⑤：ムラサキケマン

- ◇街中でも大きな公園などでは見ることができる種です。
- ◇全草に「プロトピン」という毒を持っており、誤食すれば嘔吐・呼吸麻痺・心臓麻痺などを引き起こす危険があります。
- ◇ウスバシロチョウの幼虫の食草ですが、このためこのチョウチョも有毒となるのです。

◆写真⑥： ヤマエンゴサク

- ◇キケマン属の多年草で、湿った林床や林縁部を好むようです（街では見ることができません）。
- ◇春先に花を咲かせ、落葉広葉樹林の若葉が広がる頃には地上部は枯れてなくなり、その後は翌春まで地中の地下茎で過ごす、まさに“スプリング・エフェメラル”の名にふさわしい種ですね…

◆写真⑦： ミヤマキケマン

- ◇キケマン属の越年草で、近畿地方以北に分布しています。
- ◇山地の日当たりのよい、林縁、道路法面、崩壊地などを好むようです。
- ◇ちなみに漢字で書けば「深山黄華鬢」…

◆写真⑧： ヤマルリソウ

- ◇落葉樹林の林縁や道端などの適度に湿った場所を好むようです。
- ◇この日は、この種の群落を何カ所かで確認できました。

◆写真⑨： ミツバツチグリ

- ◇「ヘビイチゴが咲いてる！」と思ったのですが、帰って写真を見るとやや違うようです…
- ◇図鑑で調べてみて、種が判明しました。

◆写真⑩： ヤマネコノメソウ

- ◇林縁部や溪谷を好む越年草です。
- ◇写真を見ても「猫の目」には見えませんが…
花が終わると開いていた顎片が立ち上がって、猫の目を連想させるようになるのです。



















